

# 倫理 授業 No.8 テーマQ.&A.プリント

## 1. 今日のテーマ・クエスチョン

### ヘレニズム哲学の特色と時代背景とは？

## 2. テーマ・アンサーのキーワードをピックアップ

※教科書P. 38・39の中から見つけよう！

紀元前4世紀に、アレクサンドロス大王がギリシアからイラン・インド西北部にまたがる大帝国をたて、ヘレニズム時代が訪れた。この時代には、ギリシアのポリスは政治的な独立を失って衰退し、ポリスの市民として徳を身につけてきた人びとは、心の支えを失い、政治などの公共の活動から身を引き、静かな生活の中に個人の魂のやすらぎを求めた。

ゼノンを祖とする(1)は、「自然にしたがって生きる」を信条に、欲望を抑制する(2)主義を守り、宇宙をつらぬく理性(ロゴス)の法則と一致して生きることを理想とした。どのような感情や情欲にも心を動揺させることのない不動心(アパテイア)をもつことが、賢者の理想の境地とされた。また、すべての人間は宇宙をつらぬく理性の法則をわけもつ限り、一つの世界に住む同胞として(3)(コスモポリテース)であるという(3)主義が説かれた。

(4)はみずからの魂を乱す原因となる世俗を避けるために、「隠れて生きよ」を信条にした。彼は人生の目的は(5)であるという(5)主義を説いたが、それは不必要なぜいたくや虚栄を求めることをやめ、静かで質素な生活に満足し、飢えやかかわきなどの自然な欲求が満たされることであった。瞬間的・感覚的な肉体の(5)におぼれず、心や体の苦痛や恐怖から解放された永続的な魂の平安(<6>)こそが、真の人生の(5)である。

### <キーワード記入欄>

1 ( ) 2 ( ) 3 ( )  
4 ( ) 5 ( ) 6 ( )

## 3. 今日のテーマ・アンサー(テーマ・クエスチョンの答)確認

※今日のノートに取った内容や2.でピックアップしたキーワードを参考にしよう。

T.Q. 「ヘレニズム哲学の特色と時代背景とは？」

T.A.

ヘレニズム哲学は宇宙観と幸福論を大切にした。[①]派と[②]派に分かれ、前者は「情念の克服(アパテイア)」を真の幸福とし、それに至る手段として[③]主義を、後者は「心の平穏(アタラクシア)」のために精神的[④]主義を主張した。また、[①]派はローマでも流行した。背景には、ポリスの崩壊とアレクサンドロス帝国の成立による[⑤]主義と個人主義への傾きがあった。

### <記入欄>

① [ ] ② [ ] ③ [ ]  
④ [ ] ⑤ [ ]

[ ]年 [ ]H No. [ ] 氏名 [ ]